



鶏 鳴

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

イエスの言葉

『疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう』

聖書(マタイ福音書11章28節)

牧師 河合裕志

私達は時に人生に疲れを覚える。就職活動で何十社と訪ねたけれどどこも不採用。これは疲れる。勤めたけれどなかなか業績が上らない。これも疲れる。人間関係がうまく行かない、長く人生を続けているといひ加減疲れて来る。

重荷もいろいろとある。食っていかねばならない、経済、お金の事。家族に病人がいる、罪を犯した人がある。こうした事は重荷となる。その他、その人その人で様々な重荷を抱えている。

超人でない限り私達は疲れを覚えたり重荷を負ったりする。そして中にはこの重圧に耐えかねて自ら死を選ぶ人がある。これは誠に残念なこと。2011年には自殺した人が3万513人いらした由。「14年連続3万人超」と新聞は伝えている。

どうしたらいいのだろうか。よく耳を傾けて聞くということか。これは大事なこと。自分の悩みを聞いてくれる人がいれば随分と重荷は軽くなる。そしてあなたは大事な人だと言ってやりたい。

今イエスは全ての人々に呼びかけている。「だれでも」わたしのもとに来なさい、休ませてあげよう、と。でもこれって具体

的にはどうということ？ イエスは2千年前の人、今はどこにもいない。

どこにもいない？ それがいる。イエスよ、助けて下さい、イエスよ、憐れんで下さい、と心より呼びかけてみよう、繰返し叫んでみよう、心に念じてみよう。イエスは名前を呼べばそこに臨んでくれる。そう信じてそこで疲れ、重荷の全てを打明ける。包み隠さず述べるんだ。

イエスはわが事のように懸命に聞いてくれる。そして一緒になって重荷を負ってくれる。パートナーとなってくれる。これで重荷は半分になる。足取りがいくらか軽くなる。イエスはあなたの重荷を負いたがっている。一緒に付添って歩きたがっている。イエスってそういう人。

イエスをもっと身近に感じたければ聖書を読めばどうだろう。聖書の中の四つの福音書はイエスの言葉と活動を今に伝えている。これを読む程にイエスは眼前に立ち上って来る。あなたに親しく語りかけて来る。全て疲れた者、重荷を負う者よ、我にきた来れ、と。

ひとつだまされたと思って福音書を開いてみたら。その文字を追ってみたら。そしてイエスよ、と呼びかけてみたら。

集会案内

主日礼拝 : 毎日曜日午前10時15分

主日夕拝 : 毎日曜日午後6時

子どもの教会 : 毎日曜日午前9時

中高青年会 : 毎日曜日礼拝後

お話し会 : 毎水曜日午後1時~午後7時

お祈り会 : 毎水曜日午前6時、午前10時、午後7時